取扱い要領

詳細は製品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

設置場所

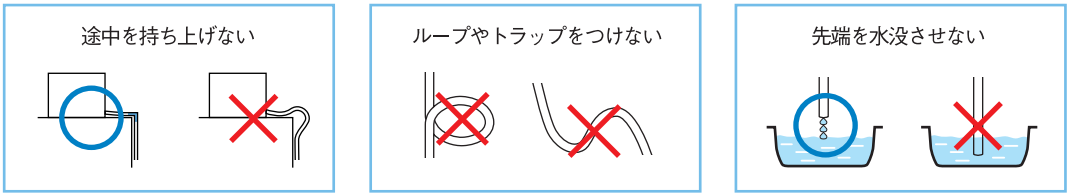
1．屋内使用専用ですから、屋外や雨水のかかる場所では使用しないでください。
2．規定温度以上の高温、85%以上の高湿、腐食性ガス・可燃性ガス雰囲気の場所で使用しないでください。
3．塵埃、オイルミストなどが特に多い場所、導電性粉塵（カーボン、金属粉など）のある場所では使用しないでください。
4．クーラに振動や衝撃が加わる場所では使用しないでください。

取り付け・その他

1．屋内で使用される制御盤の側面部または、天井部に、傾きのないように取り付けてください。
2．クーラの重量に充分耐えられる制御盤に取り付けてください。
3．制御盤内・外ともに吸入口、吹出口およびフィルタ部は通風が妨げられないように、機器や障害物との距離を確保してください。（200㎜以上）
4．制御盤にクーラを取り付けた状態での移動、運搬はしないでください。故障の原因となります。
5．ダクトを利用しての取り付けは極力しないでください。（冷却能力の低下、結露によるトラブル、故障の原因となります。）
6．設定温度は必要以上に外気温度より低く設定しないでください。盤の外面に結露が発生することがあります。
7．制御盤の扉を開放したまま、クーラを運転しないでください。（結露によるトラブル、寿命の低下の原因となります。）

ドレン排水

1．ドレンホースは必要な長さに切断して使用してください。
2．ドレンホースに結露が発生する場合は、断熱処理を施してください。

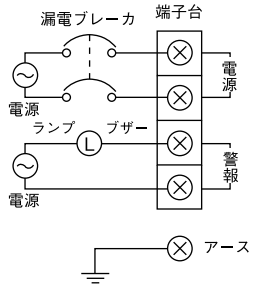


※ ドレンホースを正しく取り付けないと、ドレン水が排出されず、盤内への水漏れの原因となります。

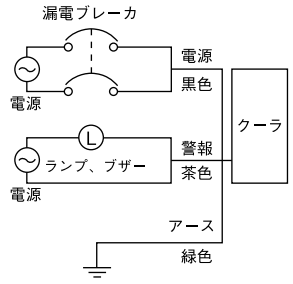
電源接続方法

1．電圧は銘板の表示電圧に従ってください。
※ 許容電圧は表示電圧（定格電圧）の±10%です。電圧変動時も許容電圧内におさまるように電源容量を注意してください。
2．端子台への接続電線は、必ず圧着端子を用いて確実に行ってください。（天井型はリード線引出しとなっています。）
3．電源は本機専用回路とし、漏電ブレーカを設けてください。
4．アースねじを用いて、必ずアース接地を行ってください。

■ 側面型結線例



■ 天井型結線例



■ 漏電ブレーカ容量表

仕様 / 機種	漏電ブレーカ容量 定格電流	漏電ブレーカ容量 定格感度電流	適用電線
KC-04EB-1	5A	15mA	1.25mm²
KC-04EB-2	5A		
KCL-08E-2	5A		
KC-09E-1	10A		
KC-09E-2	5A		
KC-15E-2	10A		
KC-20EB-2	10A		
TC-04E-1	5A		
TC-04E-2	5A		
TC-10E-1	10A		
TC-10E-2	5A		
TC-20E-2	10A		
KCC-02C-2	5A		
KCS-07E-2	5A		
KCS-03E-1	5A		
KCS-03E-2	5A		
KCS-30E-3	10A		2.00mm²

警報接続方法

異常時に冷却運転を強制的に停止して、信号を出力する機能が設けてあります。
（KCC-02Cを除く）
ランプ、ブザーなどを用いて異常警報回路を設けてください。
（接点容量表をご参照ください。）

※ 警報は周囲温度の上昇（５０℃超えた場合）、フィルタの目詰まりなどで冷媒回路内の圧力が異常圧力となった場合に、または温度センサが異常な場合に無電圧接点（ａ接点）が出力されます。

※ 警報は自己保持回路となっており、リセットをかけなければ冷却運転は再開されません。
（電源スイッチを１度「OFF」して再び「ON」することにより、リセットされます。）

接点容量表（警報出力ａ接点）

電圧 / 接点容量	抵抗負荷	誘導負荷
AC250V	5A	2A
DC 24V	5A	2A

製品廃棄方法

この製品は、冷媒として代替フロン(HFC)が使われています。
フロン類を大気中に放出することは、フロン回収破壊法により禁じられていますので、製品を廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。